

# 防錆・防食剤 Prevent CR

還元機能を持たせた無溶剤型二液性特殊エポキシ樹脂系で赤錆から黒錆(マグネタイト:Fe<sub>3</sub>O<sub>4</sub>)へ転換

※エポキシ系樹脂と錆転換剤を一体化したもので特許取得

「プリベントCR」は無溶剤型の二液性特殊エポキシ樹脂系防錆・防食剤で、鋼材の錆層に浸透して赤錆部を化学的に安定した黒錆(マグネタイト:Fe<sub>3</sub>O<sub>4</sub>)に転換する機能を持たせると共に、エポキシ樹脂系の特徴である付着性、耐薬品性、耐水性、耐塩水性等の塗膜特性に優れています。

## Prevent CR /用途/

- 石油、ガス、化学プラント等の備蓄タンク・配管設備等の特に塩害対応に有効
- 送電用鉄塔や発電所、橋梁の鉄部、工場・体育館等の金属屋根など、あらゆる鉄部の防食
- 橋梁の橋脚補強鋼板巻き立て工法時の注入
- 船舶、港湾施設等の塩害腐食の防食
- 鉄筋コンクリートのクラック補修と内部鉄筋の防食

## Prevent CR /特徴/

- **作業環境安全性** 鉛、クロム等の重金属は含んでいません。  
無溶剤型です。キシレン、トルエン等の有機溶剤は含んでおりません。  
錆取り作業の簡素化により粉塵の飛散を大幅に減少します。
- **接着力と防錆性が良好** コンクリート躯体同士の一体化、鋼錆面との接着力と防錆性の向上を発揮します。  
(錆面引張接着強度 34.3Kg/cm<sup>2</sup>)
- **無収縮** 溶剤等の揮発物は含まれておりませんので硬化時の収縮等のやせを生じません。
- **錆転換機能を付与** 鋼の錆層に容易に浸透し、錆面を化学的に安定したマグネタイト(Fe<sub>3</sub>O<sub>4</sub>)に転換する機能を持っています。
- **耐久性** 硬化後の耐水、耐久、耐薬品性に優れています。
- **素地調整が簡単で付着性と防錆性が良好** 簡単な3種ケレン程度(全面に工具をあて、劣化塗膜を除去し、鉄素地面の浮き錆はワイヤーブラシで除去する程度とし、油分及びほこりは十分除去する)で付着性と防錆性を発揮するエポキシ樹脂塗膜を形成します。
- **旧塗膜とのリフティング現象(素地と旧塗膜間の剥離)が起こりません。** 通常の塗料は作業性を良くするため樹脂の溶解性が強い溶剤を多量に含んでいます。そのため塗膜硬化反応時には溶剤が蒸発、純塗膜分の収縮を起こし、旧塗膜を溶解しやすい等の原因で旧塗膜とのリフティング現象が起きていました。「Prevent CR」は以下のようにリフティング現象が起こりません。

二液硬化反応型で  
無溶剤タイプ

塗膜硬化反応時に  
塗膜の収縮が生じない

旧塗膜からの  
リフティングが  
起こりにくい

結果

旧塗膜との  
層間はくりが  
起こりにくい

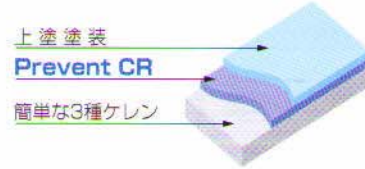


# 防錆・防食剤 Prevent CR

還元機能を持たせた無溶剤型二液性特殊エポキシ樹脂系で赤錆から黒錆(マグネタイト:Fe<sub>3</sub>O<sub>4</sub>)へ転換

## ● 塗装工程の合理化

従来の重防食塗装での補修工事において、作業の工程・工期が短縮可能になります。



## 注入剤として

「Prevent CR」は無溶剤型二液性特殊エポキシ樹脂系注入剤として、エポキシ樹脂の特徴である付着性、耐薬品性、耐水性、耐塩水性に優れている樹脂層と、更に鋼材の錆層に浸透して錆部を黒錆(化学的に安定しているマグネタイト)に変換させる機能を兼ね備えており、従来の注入方法で、内部鉄筋の防錆処理も同時に行い、錆による鉄筋の膨れを止めて、コンクリートの爆裂を防ぐ役割を果たすことが可能になりました。



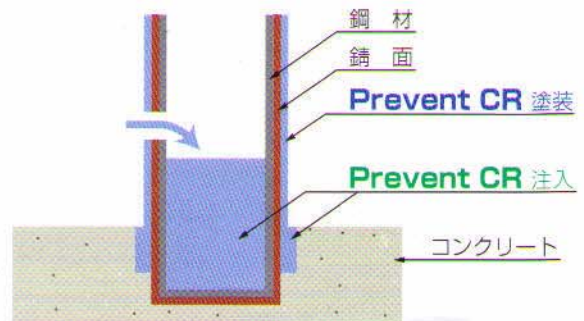
「Prevent CR」は低粘度なため注入が容易であり、クラック部、接合間隙などに容易に浸透します。

## プライマーとして

赤錆が発生すると鋼材は腐食します。そのため防錆剤を塗布しますが従来の塗料では仕上塗装に至るまでに手間と日数が必要としました。

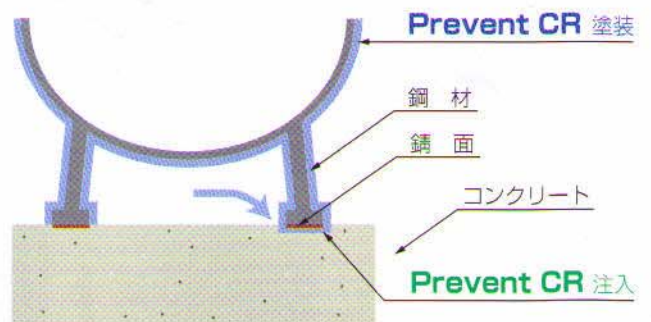
しかし、「Prevent CR」は赤錆に浸透し、黒錆の薄い皮膜を形成し、エポキシ樹脂で固める一連の作業により、錆止めから中塗り迄を完了することが可能です。

また、「Prevent CR」は湿潤状態の錆面でも浮き錆を除去してそのまま塗布することが可能です。



コンクリートの中酸化により、従来腐食しなかったコンクリート中の鋼材も知らないうちに腐食が進行し、ある時突然根元から折れるといった事故がおりかねません。

「Prevent CR」を適用する事で地面下の防食処理が可能になりました。パイプ状の内部の腐食に対し、途中から注入することにより、防錆処理をすると共に補強も兼ねます。



コンクリート土台上の鋼構造物の底部に発生した錆も「Prevent CR」を注入する事で防食処理が可能になりました。